

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 くきのうみ 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動やスポーツをすることが好きな子供は、男女ともに多かった。また、「体育の授業では、進んで学習に参加していますか」には、9割以上が肯定的な回答であった。ただ、運動やスポーツへの関心については、男子よりも女子の肯定的回答の方が高い数値であった。 ○ ふだんの生活では、女子よりも男子の方が、運動やスポーツに親しむ時間は長かった。運動をしていない理由では、「運動する場所がないから」という理由が、男女ともに多くなっていた。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育科学習においては、現在実施している専科指導や持ち合い授業の継続と指導内容充実を図る。 ○ 実技調査の結果から、全学年において、ボール運動系でのボールを握る力や投げる力の向上をねらった動きの指導充実を図っていく。 ○ 保健学習や日常の指導において、運動・食事・休養及び睡眠の大切さを伝えていく。
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童委員会活動(スポーツ委員会)が主導し、「体力アップ週間」「みんなでダンスに挑戦」「全校マラソンタイム」などの取組を計画的に実施する。 ○ 外あそびを奨励し、日頃から体を動かす楽しさを感じる機会を増やす。
--